

世界に輝く研究大学を目指して

湊総長が任期中に新たに注力する取組を中心とした「任期中の基本方針—世界に輝く研究大学を目指して—」を策定し、2021年に公表しました。世界に伍する研究大学を目指し、以下の3つのビジョンのもと、教育と学生支援、教員の研究活動支援、業務運営体制の改善、施設、組織運営、基金活動の6つの課題について、それぞれ方向性を示しています。

3つのビジョン

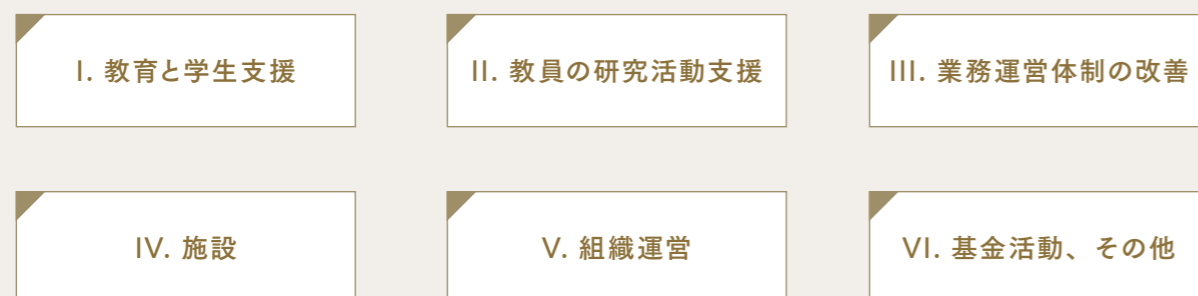


基本的な考え方

本学の基本理念、そして自由の学風のもとで独創的な研究を推進するため、多様で有為の人材が世界中から本学へ集うことのできる魅力ある教育・研究環境の整備と、自律的な運営を可能とする基盤の強化に注力します。

魅力ある教育・研究環境を実現するための方策として、学生の修学環境や教育内容・体制の改善とともに、教員の教育・研究活動を支援する体制の整備や処遇の改善に取り組みます。特に、学生・教員の多様性の確保は重要であり、優秀な海外留学生の増加や若手・女性教員の増員・育成に充分配慮します。また、自律的な運営を行う基盤の強化のため、社会への発信力の強化、産学連携活動や基金活動の一層の推進に積極的に取り組みます。

6つの取組



《6つの取組の項目》

I. 教育と学生支援

学部・大学院において、熱意に溢れ適性に優れた多様な入学者の確保とその育成のため、学生の生活支援と福利厚生の向上、学生の希望と時代のニーズに対応した教育内容・体制の改善を進める。

- | | | |
|---|---|---|
| (1)学部教育
・ 入学者選抜等
・ 学部入学定員と転学部・転学科
・ 学部カリキュラム改革
・ 短期海外留学 | (2)大学院・専門職大学院教育
・ 給付型奨学金制度の拡充と整理
・ 大学院定員と専攻組織の改革
・ 優秀な留学生の獲得
・ 大学院教育支援機構の設置 | (3)学生生活
・ 学生相談窓口の強化
・ 学生サービス環境の改善 |
|---|---|---|

II. 教員の研究活動支援

国内外の若手・女性を含む多様で卓越した研究者人材の獲得、及びそのために、教員が十分に教育・研究活動に専念できる環境の整備が最重要課題であるとする。

- | | | |
|---------------|--------------|-------------------|
| (1)研究支援体制の再構築 | (3)教員の多様性の確保 | (5)研究活動の国際化と成果の発信 |
| (2)教員の処遇改善 | (4)教育研究組織の改革 | (6)産学共同・連携活動の推進 |

III. 業務運営体制の改善

コンプライアンスに最大限の配慮をしつつ効率的で機能的な業務運営を行うために、事務組織や雇用体系の抜本的改善と事務職員の政策立案能力向上に向けての取組を進め、全体として非効率的経費の削減に努める。

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| (1)本部と部局の事務改革 | (3)財務改革 | (5)医学部附属病院の管理運営 |
| (2)全学機能組織の見直し | (4)職員の人事給与制度の改善 | |

IV. 施設

大学の施設整備計画について、その資金計画を含めて検討を進め確定していく。

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1)キャンパスマスタープラン | (2)創立125周年記念事業 |
|-----------------|----------------|

V. 組織運営

各レベルでの組織運営の責任の所在の明確化と、大学運営を担う次世代の人材育成の仕組み作りを進める。

- | | |
|-----------|-----------|
| (1)部局長の職務 | (2)総長・役員会 |
|-----------|-----------|

VI. 基金活動、その他

大学の財務基盤強化に向けて、基金活動、同窓会活動のための事務体制を充実強化する。特に今後は、法人に加え、個人を対象とする基金活動に重点を置き、海外を含む地域同窓会、保護者会やファンクラブの組織化と広報活動を強く推進する。